

歯科衛生学科

シラバスの変更一覧

学年	ページ	開講科目
1年	9	日本語表現法
1年	10	法律入門
1年	30	歯科衛生士概論
1年	31	歯内療法学
1年	33～34	歯科予防処置法
1年	35	保健指導論
1年	42	臨地実習Ⅰ（臨床基礎）
2年	49	英語Ⅰ
2年	51～52	地域保健・保健統計
2年	55	歯周療法学
2年	56	歯科補綴学
2年	66～67	保健指導演習Ⅱ（臨床応用）
2年	74	臨地実習Ⅱ（臨床応用）
3年	81	3年2024年度年間予定表
3年	85	スポーツレクリエーション
3年	86	一般臨床医学
3年	87	人間関係論
3年	92～93	保健指導演習Ⅲ（臨床総合）
3年	97	救急法・救急蘇生法
3年	102	歯科衛生研究法Ⅰ（臨床基礎）
3年	110	2024教員一覧 オフィスアワー 成績評価
3年	111	歯科衛生学科実務経験を有する教員の科目一覧

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HCU-01				
	●									
科目名	日本語表現法				単位認定者	徳田 幸雄		試験（筆記）	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題	40 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	受講態度
						授業回数	15 回			
授業の概要	書き言葉と話し言葉における日本語運用の基本を学び、論理的なコミュニケーションの手段である言語表現を効果的に実現する基礎能力を養う。まず日本語の特徴的な知識について学び、日本語運用の基本を身に付ける。その上で、書き言葉・話し言葉等の様々な表現行為に触れ、自らも表現し、相手に伝わる表現について実践的理解を深める。具体的な場面での適切な表現方法を実際に考えることで、大学や社会で必要となる日本語表現の様々なスキルを獲得することを目指す。									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活において、適切な言葉で表現・伝達できる力を身につける。 日本語の特徴を理解するとともに、正しい敬語表現を身につける。 目的に合わせた文章（文書）作成ができるようになる。 									
学修者への期待等	日本語を知ることは日本文化を知ることでもある。社会人のための教養という面だけではなく、自らの文化を再認識・再評価し、さらには自身のルーツを見つめ直す機会としてもらいたい。									
回	授業計画				準備学修					
1	ガイダンス 世界から見た日本語の特徴				日本語と英語との相違を考えてみよう。(20分程度)					
2	日本語の歴史				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
3	ことばと表現①(熟語、語句)				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
4	ことばと表現②(ことわざ、故事成語)				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
5	敬語表現①(敬語の基本)				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
6	敬語表現②(尊敬語と謙譲語)				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
7	話してみよう①:インタビューとショートスピーチ				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
8	話してみよう②:グループディスカッション				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
9	修飾語と被修飾語との関係①(原則論)				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
10	修飾語と被修飾語との関係②(練習問題)				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
11	句読点の打ち方(原則論)				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
12	句読点の打ち方と文章要約①(境界の点)				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
13	句読点の打ち方と文章要約②(逆転の点)				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
14	句読点の打ち方と文章要約③(自由の点)				前回のチェック・テストの復習。(20分程度)					
15	文章の構成									
教科書	プリントを配布する。									
参考文献	『日本語の作文技術（朝日文庫）』本多勝一著（朝日新聞出版） 『大学生のための日本語表現実践ノート』米田明美他著（風間書房）									
備考										
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HS0-04				
	●									
科目名	法律入門				単位認定者	鈴木 一樹		授業内課題等	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	社会生活をしていく上で必要な基本的な法律について学修する。特に日常の社会生活・大学生活に関係の深い様々な問題を取り上げて、問題点、解決方法、回避方法など、具体的な事例を通じて理解し身につけていく。									
到達目標	社会問題を考える際の土台となる法律の基本的な用語や概念を理解し、説明できる。身近な法律問題の学習を通じて、自ら問題を解決するための思考方法を養う。									
学修者への期待等	聞き慣れない用語や概念が多いと思いますので、復習を中心に取り組んで下さい。法律用語と日常用語の違い、授業内で扱った事例や問題は、重点的に復習すること。その際、結論だけでなく理由も説明できるようにしておくこと。									
回	授業計画				準備学修					
1	法律の種類と法律を学ぶ意味									
2	憲法（1）基本的人権 一平等権、精神的自由等一				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
3	憲法（2）基本的人権 一経済的自由、その他の人権一				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
4	憲法（3）人権総括、統治機構				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
5	民法（1）総則				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
6	民法（2）物権				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
7	民法（3）債権（契約等）				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
8	民法（4）債権（不法行為）				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
9	民法（5）親族・相続				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
10	刑法（1）総論				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
11	刑法（2）各論				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
12	会社法（1）総論、株式				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
13	会社法（2）機関、組織再編				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
14	消費者法				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
15	まとめ（小テスト）				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
教科書	特に指定しない。必要に応じてレジュメや資料を配布する。									
参考文献	適宜講義内で紹介する。									
備考	講義は全て遠隔（オンデマンド）で実施する。講義内容は、進度に応じて変更する場合がある。各回の授業内課題については、その回で学んだことや印象に残ったことを記述したものとする（様式は特に問わない。LMSで提出とする）。また、授業内課題の評価については、この他第15回実施の小テストの結果も含むものとする。小テストの実施方法は後日連絡する。課題については、講義内でフィードバックを行う。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

公認会計士として上場企業等の法定監査、税理士として税務業務に従事

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHC-01				
	●			●						
科目名	歯科衛生士概論				単位 認定者	大宮 由布子		試験(筆記)	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の 方法	受講態度	10 %
						授業時間数	30 時間		授業内課題	10 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	歯科衛生士が保健・医療・福祉に関わることの意義を理解し、人々の健康を支援する専門職として倫理的な考え方や科学的な根拠をもって歯科衛生活動を展開するために必要な態度や知識、技術についての全体像を学ぶ。									
到達目標	①保健・医療・福祉に関わる意義を理解する。 ②歯科衛生士法に基づく業務内容を理解し、歯科衛生士に必要な知識、技術、態度を身につける。 ③医療従事者として倫理観に基づいた考えや態度を身につける。 ④専門職として生涯にわたり学修することの意義を理解する。									
学修者への期待等	欠席せず、意欲を持って臨み、目指す職業について理解して欲しい。									
回	授業計画				準備学修				担当	
1	歯科臨床概論(歯科医療とは)				歯科診療における人—歯科診療従事者の種類と役割について調べてください。(概ね30分程度)				大宮 由布子	
2	歯科疾患の概要/歯科診療の流れ				前時の授業内容レジュメを復習し、授業に臨んでください。(概ね30分程度)				大宮 由布子	
3	伝統的な医の倫理から新しい医の倫理へ ～父権主義での治療から患者の自己決定権の医療へ～				歯科医療倫理1章P1の到達目標①～④の内容を理解しながら教科書を熟読し、授業にのぞんでください。(概ね30分程度)				大宮 由布子	
4	医療倫理に関する規範とバイオエシックス				歯科医療倫理2章P10の到達目標①～⑥の内容を理解しながら教科書を熟読し、授業にのぞんでください。(概ね30分程度)				大宮 由布子	
5	各症例で学ぶバイオエシックスに関わる問題				歯科医療倫理2章P16-③-バイオエシックスに関わる問題について熟読し、授業にのぞんでください。(概ね30分程度)				大宮 由布子	
6	インフォームド・コンセント E BM				インフォームドコンセントおよびE BMの用語について調べ授業に臨んでください。(概ね30分程度)				大宮 由布子	
7	歯科医療倫理を考えるうえで必要な行動				歯科医療倫理付章P52～72 歯科医療倫理を考えるうえで必要な行動/その他歯科医療従事者に必要とされることについて熟読し、授業にのぞんでください。(概ね40分程度)				大宮 由布子	
8	歯科衛生学とは 歯科衛生士の歴史/海外における歯科衛生士				歯科衛生学総論 1章P1～7、2章P8～19を読んで授業に臨んでください。出身県の歯科医院数および歯科衛生士の就業人数を調べてください。(概ね30分程度)				大宮 由布子	
9	歯科衛生活動のための理論				歯科衛生学総論 3章歯科衛生活動のための理論P20～31を読んで授業に臨んでください。(概ね30分程度)				大宮 由布子	
10	歯科衛生過程				歯科衛生学総論 4章歯科衛生過程P32～41を読んで授業に臨んでください。(概ね30分程度)				大宮 由布子	
11	歯科衛生士と歯科衛生士法 医療安全管理について				歯科衛生学総論 5章歯科衛生士法と歯科衛生業務P42～65、P99付3国際歯科衛生士連盟倫理綱領、P100付4歯科衛生士の倫理綱領を読んで授業に臨んでください。(概ね30分程度)				大宮 由布子	
12	歯科衛生士の活動と組織				歯科衛生学総論 7章歯科衛生士の活動と組織P77～92、8章海外における歯科衛生士P93～97を読んで授業に臨んでください。(概ね30分程度)				大宮 由布子	
13	歯科衛生士の活躍の場(1) ～歯科診療所に勤務する歯科衛生士～ ～病院歯科に勤務する歯科衛生士～				歯科衛生学総論 7章の復習およびP98付1 歯科衛生士と関わる専門職を読んで授業に臨んでください。(概ね30分程度)				大宮 由布子 シン ユジュ ン	
14	歯科衛生士の活躍の場(2) ～一般企業に勤務する歯科衛生士～				歯科衛生学総論 7章の復習およびP98付1 歯科衛生士と関わる専門職を読んで授業に臨んでください。(概ね30分程度)				大宮 由布子 佐藤 結愛	
15	災害支援と歯科衛生士 災害時における歯科衛生士の役割				保健生態学Ⅲ編8章災害時の歯科保健教科書P317～を読んで授業に臨んでください。(概ね30分程度)				大宮 由布子 阿部 夕	
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学総論』全国歯科衛生士教育協議会 監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯科医療倫理学』全国歯科衛生士教育協議会 監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学』全国歯科衛生士教育協議会 監修、医歯薬出版株式会社									
参考文献	『歯科衛生士のための歯科臨床概論』第2版 『新歯科衛生士教本 歯科臨床概論』全国歯科衛生士教育協議会編集、医歯薬出版株式会社 『よき歯科医療人になるための倫理・プロフェッショナル教育 プロフェッショナルワークブック』日本歯科医学教育学会 倫理・プロフェッショナル教育委員会編 医歯薬出版株式会社 『よくわかる看護職の倫理綱領』第3版 照林社 『世にも危険な医療の世界史』文藝春秋									
備考	シラバス7回目 グループワーク レポート、課題等は添削後、授業内で総括します。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

歯科診療所で勤務経験のある教員が、歯科衛生士として保健・医療・福祉において、倫理的考察および科学的根拠をもった活動を展開するために必要な態度や知識・技術の概要を指導する。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHC-02				
	●									
科目名	歯内療法学				単位認定者	庄司 佳奈子 武山 真奈美		試験(筆記)	80%	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	20%
				授業形態	講義	授業時間数	20 時間			
						授業回数	10 回			
授業の概要	歯内療法学とは、歯の硬組織、歯髓腔内、根尖周囲組織の疾病や傷害に対する診断、予防、治療に関する研究を行う臨床歯学の一分野である。本科目では、歯と歯髓の疾患の治療法、最新の機器、材料、薬剤の特徴や使用方法についてその基礎を学ぶ。さらに、歯内療法に関する診療補助の基礎知識を修得する。									
到達目標	歯内療法学の基礎を学び、歯内療法に関する診療補助の能力を修得する。									
学修者への期待等	歯内療法の対象となる患者の訴えの多くは歯の痛みであり、それを理解することが重要である。そのため歯内疾患の症状や治療法の概要をしっかりと把握しておくことが大事である。また歯内療法には多くの治療用器材・器具が必要となり、その名称や形状の特徴を理解することがスムーズな診療補助に繋がるので、しっかりと講義を聴くこと。									
回	授業計画				準備学修			担当		
1	歯内療法の概要(歯の痛みに関する基礎知識と歯内疾患の分類について概要を学ぶ)				教科書Ⅲ編第1章 歯内療法の概要を読み、象牙質知覚過敏症・歯髓疾患・根尖性歯周疾患の原因・症状・処置について理解しましょう。			庄司佳奈子		
2	歯髓保存療法(歯髓鎮静療法、覆髓法、ラバーダム防湿法について学ぶ)				教科書Ⅲ編第2章 歯髓保存療法を読み、各治療法のイラストをよく見比べておきましょう。			庄司佳奈子		
3	歯髓の除去療法(生活歯髓切断法(生活断髓法)、直接抜髓法(麻酔抜髓法)について学ぶ)				教科書Ⅲ編第3章 歯髓の除去療法を読み、イラストで術式を把握しておきましょう。			庄司佳奈子		
4	根管治療・根管充填①(根管治療の概念、根管治療の術式について学ぶ)				教科書Ⅲ編第4章 根管治療・根管充填を読み、根管治療の流れについて理解しましょう。			庄司佳奈子		
5	根管治療・根管充填②(作業長の測定法、根管の拡大形成・根管清掃・根管消毒、仮封、根管充填について学ぶ)				教科書Ⅲ編第4章 根管治療・根管充填を読み、リーマー・ファイルのISO規格・側方加圧充填法の術式を覚えましょう。			庄司佳奈子		
6	外科的歯内療法(外科的歯内療法の種類・術式について学ぶ)				教科書Ⅲ編第5章 外科的歯内療法を読み、各治療法のイラストをよく見比べておきましょう。			庄司佳奈子		
7	歯の外傷、歯内療法における安全対策(歯の外傷の種類・処置法、歯内療法時の偶発事故・対処法・予防法について学ぶ)				教科書Ⅲ編第6章 歯の外傷および第7章 歯内療法における安全対策を読み、完全脱臼した歯の保存法と皮下気腫の原因・対処法について理解しましょう。			庄司佳奈子		
8	歯内療法治療時の歯科診療補助について①(根管治療)／基礎知識・基礎演習				『歯科診療補助論』Ⅰ編4章②歯内療法時の診療補助P125～128、『歯科機器』4章⑧-歯内療法用機器を読み授業に臨むこと。(概ね30分程度)			武山真奈美		
9	歯内療法治療時の歯科診療補助について②(根管充填)／基礎知識・基礎演習(ブローチ綿花作製・根管充填材の練和)				『歯科診療補助論』Ⅰ編4章②歯内療法時の診療補助P129～132を読み授業に臨むこと。また、シラバス8回の授業資料および実習記録を確認しておくこと。(概ね30分程度)			武山真奈美 西條 佳奈		
10	歯内療法時の歯科診療時補助について③／器材の取り扱い演習／歯内療法処置における患者説明と指導				『保存修復学・歯内療法学』Ⅲ編歯内療法 第8章歯内療法における歯科衛生士の役割を読み授業に臨むこと。また、シラバス8、9回の授業資料および実習記録を確認しておくこと。(概ね30分程度)			武山真奈美 西條 佳奈		
教科書	『歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯科機器』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社									
参考文献										
備考	レポート課題を出す場合は、採点后、授業にて総括する。8～10回は2クラスに分かれて実習室で講義・演習を行う。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHP-01				
	●									
科目名	歯科予防処置法				単位認定者	武山 真奈美		試験(筆記)	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1年	開講時期	通年	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題	10 %
						授業時間数	60 時間		受講態度	10 %
				授業形態	演習	授業回数	30 回			
授業の概要	口腔疾患を予防し、歯と口腔の健康を維持・増進させるためにう蝕と歯周病の原因を理解し、う蝕予防法と歯周病予防法の基本的な知識・技術および態度を修得する。また、健康像と病的変化を把握し、口腔観察の基本を学ぶ。その手技として各検査法、予防的歯石除去法の基礎知識を学び、それに用いる器具・器材の使用法と手技を理解する。									
到達目標	①歯周病予防法の基礎知識を理解し、基礎的な技術を修得する。 ②う蝕の原因とその予防法を理解しその技術を修得する。									
学修者への期待等	1.身だしなみをきちんと整え、教科書等の忘れ物がないように授業に臨むこと。 2.欠席・欠課をしないよう意欲的臨んでほしい。									
回	授業計画			準備学修			担当			
1	歯科予防処置の概要(予防の概念)／口腔の基礎知識			教科書Ⅰ編1章P2～5「歯科予防処置の概要・定義・位置づけ」、⑤-予防の概念、Ⅱ編1章①-口腔・口腔周囲の構造、②-歯周組織を読み授業に臨むこと。(概ね30分程度)			武山 真奈美			
2	口腔内の付着物・沈着物／歯周病の基礎知識			教科書Ⅱ編2章①-口腔内の付着物・沈着物、③-歯周病を読み授業に臨むこと。(概ね45分程度)			武山 真奈美			
3	口腔内の情報収集 基礎演習① エクスプローラーの基本操作／ミラーテクニック／マネキンの取り扱い／術者・患者のポジション			教科書Ⅲ編2章⑥-2.検査項目 6) 歯面の付着物・沈着物 P139～140、P142～144のエクスプローラー、Ⅲ編3章①-1.(2)ポジションP187～188、3.ミラーテクニックP220～222を読み授業に臨むこと。また、シラバス2回目の内容を復習しておくこと。(概ね45分程度)			武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子			
4	口腔内の情報収集 基礎演習② エクスプローラーの基本操作 マネキン演習／歯周ポケット検査の基礎知識・基礎演習			教科書Ⅲ編2章⑥-2.検査項目 7) 歯周ポケット 8) 歯の動揺度P144～150を読み授業に臨むこと。また、シラバス2、3回目の内容を復習しておくこと。(概ね45分程度)			武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子			
5	口腔内の情報収集 基礎演習③ エクスプローラー・歯周プローブの基本操作 マネキン演習／相互演習の手順・留意事項説明			シラバス2～4回目の内容を復習しておくこと。(概ね30分程度)			武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子			
6	口腔内の情報収集 相互演習① 患者1人目 ※上下術者交代			シラバス2～5回目の内容を復習しておくこと。(概ね30分程度)			武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子			
7	口腔内の情報収集 相互演習② 患者2人目 ※上下術者交代						武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子			
8	口腔内の情報収集 相互演習③ 患者3人目 ※上下術者交代						武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子			
9	スクレーリングの基礎知識／基礎演習			教科書Ⅲ編3章①-1.手用スクレーラーP185～192を読み授業に臨むこと。(概ね45分程度)			武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子			
10	シッケル型スクレーラーの基本操作 マネキン演習① 部位別操作(上下顎前歯部)			教科書Ⅲ編3章①-1.手用スクレーラーP196～197「下顎前歯部・上顎前歯部」を読み授業に臨むこと。また、シラバス9回目の内容を復習しておくこと。(概ね30分程度)			武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子			
11	シッケル型スクレーラーの基本操作 マネキン演習② 部位別操作(下顎臼歯部)			教科書Ⅲ編3章①-1.手用スクレーラーP198～199「下顎右側臼歯部・下顎左側臼歯部」を読み授業に臨むこと。また、シラバス9回目の内容を復習しておくこと。(概ね30分程度)			武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子			
12	シッケル型スクレーラーの基本操作 マネキン演習③ 部位別操作(上顎臼歯部)			教科書Ⅲ編3章①-1.手用スクレーラーP200～201「上顎右側臼歯部・上顎左側臼歯部」を読み授業に臨むこと。また、シラバス9回目の内容を復習しておくこと。(概ね30分程度)			武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子			
13	シッケル型スクレーラーの基本操作 相互演習① 患者1人目 ※上下術者交代			シラバス9～12回目までの内容を復習しておくこと。(概ね30分程度)			武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子			
14	シッケル型スクレーラーの基本操作 相互演習② 患者2人目 ※上下術者交代						武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子			
15	シッケル型スクレーラーの基本操作 相互演習③ 患者3人目 ※上下術者交代						武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子			

回	授業計画	準備学修	担当
16	歯面研磨(ポリッシング)の基礎知識/マネキン演習	教科書Ⅲ編3章②-1.歯面研磨(ポリッシング)P222~227についてを読み授業に臨むこと。(概ね45分程度)	武山 真奈美 伊藤 恵美 宍戸 敦子
17	口腔内の情報収集、検査、スケーリング、歯面研磨 マネキン演習/相互演習の手順・留意事項説明	シラバス3~16回目までの内容を復習しておくこと。(概ね30分程度)	武山 真奈美 伊藤 恵美 宍戸 敦子
18	歯石除去 相互演習① (検査、スケーリング、歯面研磨) 上下顎前歯部 患者1人目 ※上下術者交代	シラバス3~17回目までの内容を復習しておくこと。(概ね30分程度)	武山 真奈美 伊藤 恵美 宍戸 敦子
19	歯石除去 相互演習② (検査、スケーリング、歯面研磨) 上下顎前歯部 患者2人目 ※上下術者交代		武山 真奈美 伊藤 恵美 宍戸 敦子
20	歯石除去 相互演習③ (検査、スケーリング、歯面研磨) 上下顎前歯部 患者3人目 ※上下術者交代		武山 真奈美 伊藤 恵美 宍戸 敦子
21	歯石除去 相互演習④ (検査、スケーリング、歯面研磨) 下顎臼歯部 患者1人目 ※左右術者交代	シラバス3~20回目までの内容を復習しておくこと。(概ね30分程度)	武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
22	歯石除去 相互演習⑤ (検査、スケーリング、歯面研磨) 下顎臼歯部 患者2人目 ※左右術者交代		武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
23	歯石除去 相互演習⑥ (検査、スケーリング、歯面研磨) 下顎臼歯部 患者3人目 ※左右術者交代		武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
24	歯石除去 相互演習⑦ (検査、スケーリング、歯面研磨) 上顎臼歯部 患者1人目 ※左右術者交代	シラバス3~23回目までの内容を復習しておくこと。(概ね30分程度)	武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
25	歯石除去 相互演習⑧ (検査、スケーリング、歯面研磨) 上顎臼歯部 患者2人目 ※左右術者交代		武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
26	歯石除去 相互演習⑨ (検査、スケーリング、歯面研磨) 上顎臼歯部 患者3人目 ※左右術者交代		武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
27	パワー(機械的)スケーラーの基礎知識/マネキン演習	教科書Ⅲ編3章①-2.パワー(機械的)スケーラーP209~218を読み授業に臨むこと。(概ね45分程度)	武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
28	パワー(機械的)スケーラー 相互演習① 相互演習の手順・留意事項説明 患者1人目	シラバス27回目の内容を復習しておくこと。(概ね30分程度)	武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
29	パワー(機械的)スケーラー 相互実習② 患者2人目		武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
30	パワー(機械的)スケーラー 相互実習③ 患者3人目		武山 真奈美 三浦 悦子 宍戸 敦子
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社		
参考文献	『歯科衛生学シリーズ 歯周病学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社		
備考	1、2回は合同授業を教室で行う。3回は2クラスに分かれて教室で演習を行う。4~30回は2クラスに分かれて実習室で講義・演習を行う。28、29回は連続で演習を行う。なお、授業の進捗状況により授業計画の順番が前後することがある。		

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

歯科診療所で勤務経験のある教員が、う蝕および歯周病予防法について基礎知識と技術を指導する。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHP-06					
	●										
科目名	保健指導論				単位認定者	佐藤 陽子 大宮 由布子		試験(筆記)	80	%	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	10	%
						授業時間数	30 時間		授業内課題	10	%
				授業形態	講義	授業回数	15 回				
授業の概要	歯科衛生士が行う歯科保健指導業務の専門性について理解し、正常な口腔とその機能について学ぶ。また、各ライフステージの一般的特徴、口腔の特徴、そして、望ましい歯科保健行動について理解する。										
到達目標	①歯科保健指導の意義および目的を理解する。 ②個人を対象とした歯科保健指導を実践するための基礎知識と技術を修得する。										
学修者への期待等	欠席や遅刻をせず、準備学修はしっかりと行い、歯科保健指導論の基礎となる部分を身につけられるよう意欲的に学んでください。										
回	授業計画				準備学修				担当		
1	歯科保健指導の概要				I編 総論 1章 歯科保健指導の概要について教科書P2～13を読んでください。(概ね30分程度)				大宮 由布子 佐藤 陽子		
2	口腔の構造と働き ①口腔の構造と機能				II編 1章 口腔の基礎知識について教科書P16～27を読んでください。(概ね30分程度)				大宮 由布子 佐藤 陽子		
3	口腔の構造と働き ②摂食嚥下のしくみ								大宮 由布子 佐藤 陽子		
4	う蝕と歯周病の基礎知識 ①う蝕とは				II編 2章 う蝕と歯周病の基礎知識について教科書P28～43を読んでください。(概ね30分程度)				大宮 由布子 佐藤 陽子		
5	う蝕と歯周病の基礎知識 ②歯周病とは								大宮 由布子 佐藤 陽子		
6	食生活と歯科疾患の関係				II編 3章 ⑥食品とう蝕誘発性～⑩特別用途食品と保健機能食品について教科書P69～85を読んでください。(概ね30分程度)				大宮 由布子 佐藤 陽子		
7	保健行動支援のための基礎知識				II編 4章保健行動支援のための基礎知識について教科書P88～98を読んでください。(概ね30分程度)				大宮 由布子 佐藤 陽子		
8	歯科衛生過程				III編 1章 歯科衛生過程の進め方①歯科衛生過程の概要について教科書P100～120を読んでください。(概ね30分程度)				大宮 由布子 佐藤 陽子		
9	歯科衛生過程・対象者の把握(医療面接・情報収集)				III編 2章 歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理P121～133を読んでください。(概ね40分程度)				大宮 由布子 佐藤 陽子		
10	歯科衛生過程・対象者の把握(器質的、機能的問題の把握)				III編 2章 ⑥口腔の器質的問題の把握 ⑦口腔の機能的問題の把握について教科書P133～158を読んでください。(概ね40分程度)				大宮 由布子 佐藤 陽子		
11	口腔清掃指数				III編 2章 ⑧分析のためのデータについて教科書P158～162を読んでください。(概ね30分程度)				大宮 由布子 佐藤 陽子		
12	口腔清掃用具(歯ブラシと歯磨剤)				III編 4章 歯科衛生介入としての歯科保健指導①口腔衛生管理に関わる指導について教科書P268～273を読んでください。(概ね20分程度)				大宮 由布子 佐藤 陽子		
13	口腔清掃用具(歯ブラシと歯磨剤)				前時の復習と自身が使用している歯ブラシについて特徴をまとめてください。(概ね30分)				大宮 由布子 佐藤 陽子		
14	各種ブラッシング方法(歯ブラシの毛先を使ったブラッシング方法)				III編 4章 歯科衛生介入としての歯科保健指導①口腔衛生管理3)ブラッシング方法について教科書P273～278を読んでください。(概ね20分程度)				大宮 由布子 佐藤 陽子		
15	各種ブラッシング方法(歯ブラシの脇腹を使ったブラッシング方法)								大宮 由布子 佐藤 陽子		
教科書	「歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論」全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社										
参考文献	「歯科衛生ケアプロセス」下野正基監修 佐藤陽子 齋藤淳編著 医歯薬出版株式会社 「歯科衛生ケアプロセス実践ガイド」佐藤陽子 齋藤淳編著 医歯薬出版株式会社										
備考	シラバス1～12回目は教室で合同講義。シラバス13～15回目はクラスごと実習室にて演習。レポートおよび課題は添削後、授業内で総括する。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

歯科診療所で勤務経験のある教員が、う蝕および歯周病予防法について基礎知識と技術を指導する。

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
	●	●	●		

科目ナンバリング
DH-2-CLT-01

科目名	臨地実習Ⅰ（臨床基礎）				単位認定者	伊藤恵美 佐藤陽子 大宮由布子 花渕 静 武山真奈美 西條佳奈 伊藤明日香		評価の方法	実習状況	100 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1年	開講時期	通年	単位数	4 単位			
						授業時間数	180 時間			
				授業形態	実習	授業回数	集中			
授業の概要	<p>本科目は、医療機関で行う臨床実習と、教育機関で行う臨地実習からなる。前期に行う医療機関での見学実習では、歯科診療の業務内容、及び歯科医療チームの一員としての歯科衛生士の役割を理解し、歯科衛生士としての心構えを身につける。後期に行う臨床実習では、学内で既修の知識、技術、態度を具体的、かつ、実際に理解し、歯科衛生士としての役割を把握する。また、教育機関で行う臨地実習を通して、ライフステージに合わせた歯科保健指導について学ぶ。歯科衛生士として基本的な知識、技能及び態度を身につけ、今後の学修目標を明確にする。</p>									
学修者への期待等	<p>1) 臨床現場における歯科衛生士の業務を見学することで将来の自分の歯科衛生士像をイメージしてください。 2) 学内で学んだ知識、技術を具体的かつ実践的に実施してください。</p>									

授業計画

<p>1. 実習期間</p> <p>1) 歯科診療所見学実習:6月(2日間)</p> <p>2) 歯科診療所臨床実習:1月～2月(21日間)</p> <p>3) 小学校実習(3年生・1年生の合同実習):1日間</p> <p>2. 実習の目標</p> <p>1) 歯科医院見学実習</p> <p>(1) 歯科医院における歯科診療の流れを理解する。</p> <p>(2) 歯科医院における歯科衛生士の仕事内容を理解する。</p> <p>2) 歯科医院臨床実習</p> <p>(1) 歯科診療の流れを理解し、それに必要な診療介助の方法を理解する。</p> <p>(2) 歯科衛生士が歯科医院で行う歯科診療補助、歯科予防処置歯科保健指導の内容を理解する。</p> <p>(3) 1年次に学内で学んだ知識、技術を臨床現場で実施することにより自己の学修成果を確認する。</p> <p>3) 小学校実習</p> <p>(1) ライフステージに合わせた歯科保健指導について理解する。</p> <p>(2) 児童との円滑なコミュニケーションの重要性を理解する。</p> <p>3. 実習計画</p> <p>1) 歯科医院見学実習 実習項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療室内の環境整備 ・患者誘導 ・各症例の見学(患者来院～治療終了後まで) <p>2) 歯科医院臨床実習 実習項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療室内の環境整備 ・患者誘導 ・使用器具・器材・材料の準備・後片付け ・診療介助(バキューム/ライティング/器具・器材の受け渡し) ・各種検査記録(歯式、歯周検査、O'Leary) ・印象採得介助(印象材練和) ・各種セメントの取り扱い <p>3) 小学校実習 実習項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年に合わせた歯科保健指導案の作製 ・児童に対する口腔衛生集団指導の実施 										
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

教科書	1年次で、専門展開科目で使用する各教科書
-----	----------------------

参考文献	特になし。
------	-------

備考	実習終了後に、実習報告会を実施する。この報告会で実習の振り返りを行い、実習評価について総括する。
----	--

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HCU-02				
	●									
科目名	英語 I				単位 認定者	近江 貞子		試験(筆記)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	10 %
						授業時間数	30 時間		課題・小テスト	20 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	日常会話や専攻分野の仕事・職場で頻繁に用いられる基本表現を「話し」・「聞く」ことができる力を養い、基礎的な英語コミュニケーション能力を修得する。									
到達目標	学生は当該専門職として必要となる基礎的な英会話と一般的なトピックについて英会話ができるようになる。									
学修者への期待等	英語コミュニケーションは受け身の学修姿勢では成立しないため、履修生の積極的な参加を期待する。ノート、辞書を必ず持参すること。(辞書がない学生は英和辞書のアプリをダウンロードしておくこと。)授業では音読を始め、ペアワークで英語を話す時間を設けるが大きな声で発音するようお願いしたい。									
回	授業計画				準備学修					
1	1:初診患者対応のための会話練習、解説 /Getting Acquainted-会話練習				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。(1時間程度)					
2	2:問診票記入について患者に説明するための会話練習				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。(1時間程度)					
3	3:アポイントメントの取り方のための会話練習、解説				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。(1時間程度)					
4	4:様々な治療について説明するための会話練習				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。(1時間程度)					
5	5:患者の既往歴について尋ねるための会話練習				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。(1時間程度)					
6	6:患者の症状を尋ねるための会話練習、解説				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。(1時間程度)					
7	7:患者にどのような治療、処置を行うかを説明するための会話練習				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。(1時間程度)					
8	8:患者に対してすべきこと、してはいけないことをアドバイスするための会話練習、解説				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。(1時間程度)					
9	9:患者への歯ブラシ指導のための会話練習、解説				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。(1時間程度)					
10	10:患者からの質問対応や質問を患者に行うための会話練習、解説				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。(1時間程度)					
11	既習箇所の復習				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。(1時間程度)					
12	11:抜歯する患者へアドバイスするための会話練習、解説				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。(1時間程度)					
13	12:患者に薬について説明し、薬局への指示を与えるための会話練習				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。(1時間程度)					
14	13.支払先、治療費、歯科用製品の価格の説明のための会話練習				単語の予習、復習と発音練習、その他指定された課題を行うこと。(1時間程度)					
15	14. 歯科衛生士の仕事に必要なもの、歯科衛生士の典型的な一日についての会話練習 / 試験について				試験のために準備をし、疑問点は質問すること。(学修時間は各自に任せる)					
教科書	『2週間で英語耳 歯科衛生士のためのListening Skills CD付』C. S. Langham・田嶋倫雄著、医歯薬出版株式会社									
参考文献										
備考	授業の進行状況によってシラバスを変更することがある。学期内に数回、課題の提出、授業中の小テスト(発音・単語・会話など)を実施する。小テストの結果については授業内でフィードバックする。2、5、12、15回は1クラスで授業を実施する。1、3、4、6～11、13、14回目は2クラスに分かれて授業を実施する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-1-DHB-15				
	●									
科目名	地域保健・保健統計				単位認定者	小野寺 健 大森 俊也 石河 理紗		試験（筆記）	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	通年	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	20 %
						授業時間数	40 時間		授業内課題（小テスト等）	10 %
				授業形態	講義	授業回数	20 回			
授業の概要	人々の健康に関わる地域の役割を学び、地域保健を担う組織の仕組みと特徴を理解する。また、集団を対象とした疾病予防と健康増進に関わる地域保健活動において歯科衛生士の役割を理解する。保健統計では、歯科臨床や保健情報のデータから、統計学的な解析を行う方法を身につける。									
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の歯と口腔の健康づくりを支援するための基礎と方策について理解する。 ・一人ひとりの生活行動が身近な地域福祉活動に結びつくものであること、また、一人ひとりが社会資源として地域福祉のネットワークに参画する必要性について理解する。 ・保健統計とは、健康増進、疾病予防、医療等人の健康に関する統計のことを指す。本科目では、保健統計の種類と意義を学修し、わが国の保健統計の変遷及び現状等について理解を深める。さらに医療の現場で得られる様々なデータは、そのままでは理解することが難しい場合も多い。そうしたデータを視覚的、数量的にまとめ、有用な情報を抽出するための方法を理解する。 									
学修者への期待等	地域福祉について、口腔の健康に及ぼす要因も含めて理解する。基本的な統計学的手法について理解する。授業終了後に重要項目をまとめた小テストを実施するので、その内容については次回までに復習することが望ましい。									
回	授業計画				準備学修			担当		
1	地域保健・公衆衛生① 生活と健康、地域社会と保健対策の基本的な考え方を学び、時代の変化に伴う地域保健活動の変化から、今日の現状を概説する。				予習として教科書のⅢ編1章①～④を読んで授業に臨むこと。			石河 理紗		
2	地域保健・公衆衛生② 健康づくり対策と地域歯科保健について説明する。				前回の復習として講義資料を再読しておくこと。 予習として教科書のⅢ編1章⑤～を読んで授業に臨むこと。			石河 理紗		
3	母子保健 母子健康手帳に記載された口腔関連質問項目や妊産婦への歯科保健指導の要点について学ぶ。また1歳6カ月児、3歳児健康診断の目的、う蝕罹患型の分類、歯科保健指導の要点等を学習する。				前回の復習として講義資料を再読しておくこと。 予習として教科書のⅢ編2章を読んで授業に臨むこと。			石河 理紗		
4	学校保健 学校保健の対象者とその意義、関係職員について学ぶ。また保健教育と保健管理の概要を理解する。学校歯科健康診断について診査の項目や記載事項、事後措置を学ぶ。				前回の復習として講義資料を再読しておくこと。 予習として教科書のⅢ編3章を読んで授業に臨むこと。			石河 理紗		
5	成人保健・高齢者保健 成人保健として生活習慣病のリスクファクターと成人期の口腔保健管理について学ぶ。また、高齢者保健として高齢者の保健対策や介護保険、地域支援事業について理解する。				前回の復習として講義資料を再読しておくこと。 予習として教科書のⅢ編4章、6章を読んで授業に臨むこと。			石河 理紗		
6	産業保健 産業保健の目的、関連法規について学び、職業性疾患の要因と歯科を含む特殊健康診断について理解する。また安全衛生管理について学習する。				前回の復習として講義資料を再読しておくこと。 予習として教科書のⅢ編5章を読んで授業に臨むこと。			石河 理紗		
7	精神保健 精神保健の定義、意義を学び、精神保健福祉行政や精神医療の現状と課題について理解する。また精神障害者の社会復帰と歯科保健の問題を考える。				前回の復習として講義資料を再読しておくこと。 予習として教科書のⅢ編7章を読んで授業に臨むこと。			石河 理紗		
8	災害時歯科保健、国際保健 日常的災害対策や災害時の保健医療について学び、災害時の歯科保健、歯科の役割について理解する。また世界的な健康水準や保健医療水準、国際協力に関わる機関やその活動について学ぶ。				前回の復習として講義資料を再読しておくこと。 予習として教科書のⅢ編8～9章を読んで授業に臨むこと。			石河 理紗		
9	まとめ これまでの授業内容について総括する				これまでの講義内容のうち、自分で理解不十分と思う部分について、教科書や講義資料を確認の上で授業に臨むこと。			石河 理紗		

回	授業計画	準備学修	担当
10	「地域福祉」の理解 1 地域福祉の全体像をとらえる(1) 少子高齢多死という人口減少社会とともに経済縮小社会に推移することに加え、受益と負担を知り、これまでの公助・共助・自助の概念に加えて「互助」の福祉コミュニティの形成、地域福祉の必要性を学ぶ。	スライド資料をもとに授業を進める。テキストは、体系的に構成され容易に読解できる。初回講義までに地域福祉のイメージを描けるよう、まずは、目次に目を通して置くこと。(概ね20分)	大森 俊也
11	「地域福祉」の理解 2 地域保健、地域医療の構想と超高齢における介護社会を連携する地域包括ケアのイメージをとらえ、対応としての社会福祉からWell-beingの福祉社会への転換点となった社会福祉法の目的を知り、地域福祉の構成要素について理解を深める。	テキストの地域福祉の理念、理論、構成要素P18～27、地域福祉の主体・担い手P90～91を熟読しておくこと。(概ね20分)	大森 俊也
12	「地域福祉」の理解 3 地域福祉の理念について学ぶ。ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、アドボカシー、ボランティア、協働・パートナーシップ、エンパワメントを整理し、地域で支え合う担い手としての役割、考え方を深める。	テキスト、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、アドボカシー、ボランティアコーディネーター、ソーシャルサポートネットワーク、パートナーシップの項目について通読しておくこと。(概ね30分)	大森 俊也
13	「地域福祉」の理解 4 地域で起こっている児童虐待と危機介入について学ぶ。	テキストP124～P129の子どもと地域福祉を熟読しておくこと。(概ね20分)	大森 俊也
14	「地域福祉」の理解 5 地域福祉の推進主体としての民生・児童委員の活動と子供の貧困について学ぶ。	前4回の講義をもとに、地域福祉の必要性について脈絡を整理して、講義に臨むこと。(概ね20分)	大森 俊也
15	「地域福祉」の理解 6 地域福祉計画の実際として、仙台市地域福祉計画から地域福祉の進捗状況を学ぶ。地域へのアプローチについて学ぶ。	これまで学んだ地域福祉の課題を身近なこと、自分だったらどうする？どうしたい？どうとてほしいか、学びからの気づきを整理しておく、テキスト地域福祉政策P142～P151を熟読して講義に臨むこと。(概ね30分)	大森 俊也
16	保健情報と保健統計、国家統計調査について	『保健情報統計学』の1～17ページを読んで授業に臨むこと。(概ね20分程度)	小野寺 健
17	保健情報と疫学(総論、方法論)、歯科疾患の指数(数量化と指数、様々な歯科保健指標)	『保健情報統計学』の18～70ページ(とりわけ、18～33ページ)を読んで授業に臨むこと。(概ね20分程度)	小野寺 健
18	保健情報の分析手順(保健情報の収集、調査、母集団と標本抽出)	『保健情報統計学』の73～88ページを読んで授業に臨むこと。(概ね20分程度)	小野寺 健
19	保健統計の方法(データの特性、記述統計、推定と信頼区間、保健情報の多変量解析)	『保健情報統計学』の89～113ページを読んで授業に臨むこと。(概ね20分程度)。次回授業時、保健統計に関する小テストを行う予定。(概ね1時間程度の事前学修が必要)	小野寺 健
20	保健情報の分析演習(解析と検定の演習)	『保健情報統計学』の114～136ページを読んで授業に臨むこと。(概ね20分程度)	小野寺 健
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『よくわかる地域福祉 第5版』上野谷加代子・松端克文・山縣文治編、ミネルヴァ書房 『歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社		
参考文献			
備考	1～9回目は動画視聴で実施する。小テスト課題は回収後、採点し、次回総括する。		

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHC-04				
	●									
科目名	歯周療法学				単位認定者	梶川 哲宏		試験(筆記)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					講義	授業時間数	30 時間			
				授業形態			授業回数		15 回	
授業の概要	歯周疾患が全身状態に影響することが明らかとなり、超高齢社会を迎え、歯周疾患の治療と予防のニーズはますます高まっている。歯科衛生士として治療と予防に積極的に参加介入するために、歯周疾患と歯周療法に関する基礎知識及び診療補助を行うために必要な基礎知識を修得する。									
到達目標	歯周疾患の分類及びプラークを主とする歯周疾患の原因について理解する。次に歯周疾患の診査法を学び、プラーク付着状態の診査、歯周ポケット測定、歯の動揺度の測定、X線写真読影、その他の診査を理解する。さらに歯周治療の流れ、歯周基本治療および歯周外科治療について内容を理解するとともに、歯科衛生士の果たす役割についても理解する。									
学修者への期待等	事前にテキストを熟読してくること。									
回	授業計画				準備学修					
1	歯周疾患の基礎知識Ⅰ 歯周病の概要、歯周組織の構造と機能を学ぶ。				教科書Ⅰ編1章「歯周治療とは」、教科書Ⅰ編2章「正常な歯周組織の構造と機能」を予習して来て下さい。(概ね30分程度)					
2	歯周疾患の基礎知識Ⅱ 歯肉炎と歯周炎・その他の歯周疾患を理解する。				教科書Ⅰ編3章「①歯周病の分類」を予習して来て下さい。(概ね30分程度)					
3	歯周疾患の基礎知識Ⅲ 歯周疾患の原因を学ぶ。				教科書Ⅰ編3章「②歯周病の原因、④インプラント周囲疾患」を予習して来て下さい。(概ね30分程度)					
4	歯周治療の実際Ⅰ 歯周治療の進め方を学ぶ。				教科書Ⅱ編1章「歯周治療の進め方」を予習して来て下さい。(概ね30分程度)					
5	歯周治療の実際Ⅱ 歯周疾患の診査 ― 一般診査、歯周組織破壊の程度の診査、原因となる因子の診査を学ぶ。				教科書Ⅱ編2章「①主訴を中心とした一般診査、②歯周病検査」、教科書Ⅲ編1章「②―歯周病検査・診断時の補助」を予習して来て下さい。(概ね30分程度)					
6	歯周治療の実際Ⅲ 歯周疾患の診査 ― 咬合の診査、画像診断、その他の診査を学ぶ。				教科書Ⅱ編2章「③咬合の診査、④画像診断、⑤その他の診査」、教科書Ⅲ編1章「②―歯周病検査・診断時の補助」を予習して来て下さい。(概ね30分程度)					
7	歯周治療の実際Ⅳ 歯周基本治療とは何か? 目的と効果、基本治療の内容と実際について学ぶ。				教科書Ⅱ編3章「歯周基本治療」、教科書Ⅲ編1章「③―リスクファクターなどに対する指導」を予習して来て下さい。(概ね30分程度)					
8	歯周治療の実際Ⅴ スケーリング・ルートプレーニングについて学ぶ。				教科書Ⅲ編1章「④―スケーリング・ルートプレーニング」を予習して来て下さい。(概ね30分程度)					
9	歯周治療の実際Ⅵ 歯周外科① ― 歯周外科治療の目的、分類について学ぶ。				教科書Ⅱ編4章「①―歯周外科治療の目的と分類、②歯周外科治療後の治癒形態」を予習して来て下さい。(概ね30分程度)					
10	歯周治療の実際Ⅵ 歯周外科② ― 主な歯周外科手術の適応・術式について学ぶ。				教科書Ⅱ編4章「④―種々の歯周外科治療」を予習して来て下さい。(概ね30分程度)					
11	歯周治療の実際Ⅵ 歯周外科③ ― 歯周外科治療における準備、介助について学ぶ。				教科書Ⅱ編4章「③―歯周外科に用いる器材」、教科書Ⅲ編1章「⑤―歯周外科治療」を予習して来て下さい。(概ね30分程度)					
12	歯周治療の実際Ⅵ 歯周外科④ ― 根分岐部病変、歯周―歯内病変について学ぶ。				教科書Ⅱ編4章「付―根分岐部病変の治療、付―歯周―歯内病変の治療」を予習して来て下さい。(概ね30分程度)					
13	歯周治療の実際Ⅶ 歯周治療としての口腔機能回復治療について学ぶ。				教科書Ⅱ編5章「歯周治療としての口腔機能回復治療」、教科書Ⅲ編1章「⑥―口腔機能回復治療」を予習して来て下さい。(概ね30分程度)					
14	歯周治療の実際Ⅷ メンテナンスの重要性、時期、内容について学ぶ。				教科書Ⅱ編6章「メンテナンス」、教科書Ⅲ編1章「⑦―メンテナンス、SPT」を予習して来て下さい。(概ね30分程度)					
15	疫学とペリオドンタルメディスンについて学ぶ。				教科書Ⅱ編2章「②歯周病検査」、教科書Ⅲ編3章「③ペリオドンタルメディスン」を予習して来て下さい。(概ね30分程度)					
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯周病学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社									
参考文献										
備考	講義の出席率が評価に反映されます。4、7、8、11、13回目は動画視聴で実施する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学習成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHC-05				
	●									
科目名	歯科補綴学				単位認定者	依田 信裕		試験（筆記）	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	20 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
						授業回数	15 回			
授業の概要	<p>歯科補綴治療とは、歯の欠損やそれに伴う周囲組織の変化を、人工材料で修復して、形態・諸機能を回復させ、さらに歯の喪失などにより二次的に生じる障害を予防するものである。本科目では、歯科補綴学の概要を理解する上で必要な基礎的事項を理解し、次いで種々の歯科補綴物についての理解を深める。</p>									
到達目標	<p>歯科補綴学、補綴歯科診療に際して歯科衛生士に求められる必要最少限の知識を修得する。</p>									
学修者への期待等	<p>超高齢社会の現在、歯の喪失による咀嚼障害についての認識が高まり、特に有床義歯などの歯科補綴治療に対する関心が高まっている。歯科衛生士にはこれらのニーズに応じた歯科補綴治療を行う上での適切な知識が必要とされる。そのために、教科書等による予習・復習を十分に行うことを望む。</p>									
回	授業計画				準備学習					
1	歯科補綴学概論：意義と目的（歯科補綴治療とはどんな事をするのか、歯科治療全体における歯科補綴治療の役割。（歯科治療と内科治療の違い、歯科治療と社会生活とのかかわり））				予習として教科書の序章「咀嚼障害・咬合異常に対する歯科補綴」、および1章「歯科補綴の概要」を読んでおいて下さい。（概ね1時間程度）					
2	歯科補綴治療の基礎事項：歯列弓の形態とその対合関係：歯列弓、咬合彎曲、咬合平面、対合関係、歯科補綴治療で重要な基準平面				歯科補綴治療の最も基礎知識を学びます。覚えることが多いので、予習・復習して十分理解して下さい。（概ね1時間程度）					
3	補綴歯科治療における検査・診断：医療面接と診察、画像検査、咬合と顎口腔機能の検査				歯科補綴によりどのように機能が回復しうるかは、なぜ補綴治療が必要なのか患者さんに説明する上で重要な事項ですので十分理解してください。（概ね1時間程度）					
4	クラウン・ブリッジ①：クラウン治療の概要、ブリッジ治療の概要、CAD/CAMクラウン治療概要				クラウン・ブリッジは日常臨床において頻度の高い重要な治療の一つです。ここでは基本知識を中心に予習しましょう。（概ね1時間程度）					
5	クラウン・ブリッジ②：クラウン・ブリッジ治療の流れと診療の補助				クラウン・ブリッジ治療の流れ、各治療段階において準備する器材を覚えることは歯科衛生士業務として重要です。（概ね1時間程度）					
6	クラウン・ブリッジ③：クラウン・ブリッジ治療の流れと診療の補助、クラウン・ブリッジ治療に伴うトラブルとその対応				クラウン・ブリッジ治療の流れと診療の補助、クラウン・ブリッジ治療に伴うトラブルとその対応は臨床において重要です。教科書の該当箇所を予習してください。（概ね1時間程度）					
7	全部床義歯①：全部床義歯治療の概要、全部床義歯治療の流れと診療の補助				全部床義歯は、歯科補綴学において「咬合」を学ぶ上で大切な事項が多く存在します。まずは基本知識・治療の流れについて予習しましょう。（概ね1時間程度）					
8	全部床義歯②：全部床義歯の装着、患者への説明と指導、全部床義歯治療に伴うトラブルとその対応				全部床義歯装着後はしっかりとメンテナンスすることが重要です。患者への説明と指導、全部床義歯治療に伴うトラブルとその対応について予習してください。（概ね1時間程度）					
9	部分床義歯①：部分床義歯治療の概要、部分床義歯治療の流れと診療の補助				部分床義歯治療は、適用範囲が広く、高頻度治療です。治療の流れは複雑ですので十分に教科書を予習してください。（概ね1時間程度）					
10	部分床義歯②：部分床義歯の装着、患者への説明と指導、部分床義歯治療に伴うトラブルとその対応				部分床義歯装着後もメンテナンスが重要です。また、治療後のトラブルとその対応も複雑ですので、しっかりと予習してください。（概ね1時間程度）					
11	インプラント①：インプラント治療の概要、インプラント治療の流れと診療の補助				インプラント治療は補綴治療の一選択肢として確立された方法です。その概要や治療の流れについて教科書をしっかりと予習してください。（概ね1時間程度）					
12	インプラント②：インプラント治療の流れと診療の補助、上下無歯顎症例に対するインプラント治療、インプラント治療に伴うトラブルとその対応				インプラント治療は様々な欠損形態に応用可能です。また、高額治療でもあるので、治療後のトラブル対応は他の治療に比較して重要度が高いです。良く予習しましょう。（概ね1時間程度）					
13	インプラント③：インプラントのメンテナンス、天然歯との相違、使用するべき器材、症例供覧				インプラント治療後のメンテナンスは歯科衛生士として重要な業務の一つです。生物学的な基礎知識をしっかりと予習してください。（概ね1時間程度）					
14	特殊な口腔内装置を用いる治療：顎顔面補綴治療、構音・嚥下機能の補助治療、顎関節と歯ぎしりの治療、スポーツ外傷の予防、睡眠時無呼吸症候群の歯科的治療、				これまで学んだ補綴装置以外にも、多くの補綴装置が存在します。ここでは様々な補綴装置の基礎を学びますので、教科書の該当箇所を事前に予習して下さい。（概ね1時間程度）					
15	器材の管理：感染予防策、滅菌、消毒、洗浄、保管） 歯科補綴学のまとめ：国家試験問題の傾向と対策				感染予防対策は全ての診療の基本ですので、復習し十分に理解してください。また、国家試験の動向を踏まえ、歯科補綴をまとめます。					
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社									
参考文献										
備考	1、5、6回目の授業は動画視聴により実施する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHP-08				
		●	●							
科目名	保健指導演習Ⅱ（臨床応用）				単位認定者	佐藤 陽子 大宮 由布子 花淵 静 伊藤 明日香		試験（筆記）	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	通年	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	10 %
					授業形態	演習	授業時間数		60 時間	授業内課題
				授業回数			30 回			
授業の概要	各ライフステージにおけるプロフェッショナルケアの目標を理解し、臨床例をとおして、対象者の問題解決に向けて対応できる能力を身につける。									
到達目標	歯科保健指導において歯科衛生士が使用するさまざまな口腔清掃用具の使用法を学ぶと共に基本的実技に習熟し、臨床の場に十分対応し得る能力を修得する。各ライフステージ別の口腔の問題点、生活背景を理解し、歯科衛生過程における指導計画の考察力を身につける									
学修者への期待等	1.欠席・欠課をしないよう意欲を持って授業に臨んで欲しい。 2.身だしなみをきちんと整え、教科書等忘れ物しないようにして欲しい。									
回	授業計画				準備学修			担当		
1	ライフステージにおける歯科衛生介入 ①妊産婦期				IV編 対象別の歯科衛生介入 1章ライフステージに対応した歯科衛生介入①妊産婦期P312～を読み授業に臨んでください。(概ね30分)			花淵 静 佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香		
2	ライフステージにおける歯科衛生介入 ②新生児期・乳児期				IV編 対象別の歯科衛生介入 1章ライフステージに対応した歯科衛生介入 ②乳児期P320～を読み授業に臨んでください。(概ね30分)			花淵 静 佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香		
3	ライフステージにおける歯科衛生介入 ③幼児期				IV編 対象別の歯科衛生介入 1章ライフステージに対応した歯科衛生介入③幼児期P330～を読み授業に臨んでください。(概ね30分)			花淵 静 佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香		
4	ライフステージにおける歯科衛生介入 ④学齢期				IV編 対象別の歯科衛生介入 1章ライフステージに対応した歯科衛生介入④学齢期P338～を読み授業に臨んでください。(概ね30分)			花淵 静 佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香		
5	ライフステージにおける歯科衛生介入 ⑤青年期				IV編 対象別の歯科衛生介入 1章ライフステージに対応した歯科衛生介入⑤青年期P345～を読み授業に臨んでください。(概ね30分)			花淵 静 佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香		
6	学校保健(小学校)における歯科小集団保健指導法				IV編 1章-④学齢期の歯科衛生介入P338～復習しておくこと。V編2章地域歯科保健活動のフィールドP403～を読み授業に臨んで下さい。(概ね40分程度)			花淵 静 佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香		
7	小集団歯科保健指導法(発声・話法)検討演習① (プレゼンテーション演習)				シラバス6回目にプリントを配布しますので、発声・話法練習をしてから授業に臨んで下さい。(概ね30分程度)			花淵 静 佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香		
8	小集団歯科保健指導法(発声・話法)検討演習② (プレゼンテーション演習)				シラバス6回目にプリントを配布しますので、発声・話法練習をしてから授業に臨んで下さい。(概ね30分程度)			花淵 静 佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香		
9	ブラッシング指導モデル演習 (各症例別ブラッシング指導ポイントを知る)				III編 4章歯科衛生介入としての歯科保健指導P268～P280①口腔衛生管理に関わる指導を復習し授業に臨んでください。(概ね20分程度)			佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香		
10	ブラッシング指導演習(磨き残し部位に対するブラッシング法 ワンポイント指導)～術者磨き、フロッシング相互演習①～ (演習手順説明/術者1人目/手技評価)				術者の手順、留意事項、患者説明のポイントを理解し演習に臨んでください。(概ね30分程度)			佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香		
11	ブラッシング指導演習(磨き残し部位に対するブラッシング法 ワンポイント指導)～術者磨き、フロッシング相互演習②～ (術者2人目/手技評価)				術者の手順、留意事項、患者説明のポイントを理解し演習に臨んでください。(概ね30分程度)			佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香		
12	ブラッシング指導演習(磨き残し部位に対するブラッシング法 ワンポイント指導)～術者磨き、フロッシング相互演習③～ (術者3人目/手技評価/演習まとめ)				術者の手順、留意事項、患者説明のポイントを理解し演習に臨んでください。(概ね30分程度)			佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香		
13	音波歯ブラシ・電動歯ブラシ検討実習				『歯科機器』P41～口腔清掃機器、『歯科材料』P39～スポンジブラシを読み授業に臨んでください(概ね20分程度)			大宮 由布子 伊藤 明日香 宍戸 敦子		
14	スポンジブラシ、舌ブラシによる相互演習							大宮 由布子 伊藤 明日香 宍戸 敦子		
15	歯面研磨・歯面清掃(PTCとPMTC)エバチップ操作相互演習 (1) / (演習手順説明/術者1人目)				「歯科予防処置・歯科保健指導論」第Ⅲ編3章②歯面研磨・歯面清掃(PTC)を読んで授業に臨んでください。(概ね20分程度)			大宮 由布子 伊藤 明日香 宍戸 敦子		

回	授業計画	準備学修	担当
16	歯面研磨・歯面清掃 (PTCとPMTC)エバチップ操作相互演習 (2) (術者2人目、3人目/演習まとめ)	「歯科予防処置・歯科保健指導論」第Ⅲ編3章②歯面研磨・歯面清掃 (PTC) およびシラバス11回目の授業資料を読んで授業に臨んでください。(概ね20分程度)	大宮 由布子 伊藤 明日香 宍戸 敦子
17	PMTC相互演習 (歯垢染色剤2度染めによるPMTC技術検討演習)① (演習手順説明/術者1人目/手技評価)	保健指導演習ⅠのPMTC基礎演習にて配布されたプリントを読み演習に臨んでください。(概ね30分程度)	大宮 由布子 伊藤 明日香 宍戸 敦子
18	PMTC相互演習 (歯垢染色剤2度染めによるPMTC技術検討演習)② (術者2人目/手技評価)	保健指導演習ⅠのPMTC基礎演習にて配布されたプリントを読み演習に臨んでください。(概ね30分程度)	大宮 由布子 伊藤 明日香 宍戸 敦子
19	PMTC相互演習 (歯垢染色剤2度染めによるPMTC技術検討演習)③ (術者3人目/手技評価/演習まとめ)	保健指導演習ⅠのPMTC基礎演習にて配布されたプリントを読み演習に臨んでください。(概ね30分程度)	大宮 由布子 伊藤 明日香 宍戸 敦子
20	ライフステージにおける歯科衛生介入 ⑥成人期	Ⅳ編 対象別の歯科衛生介入 1章ライフステージに対応した歯科衛生介入⑥成人期P350～を読んで授業に臨んでください。(概ね30分)	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
21	ライフステージにおける歯科衛生介入 ⑦老年期	Ⅳ編 対象別の歯科衛生介入 1章ライフステージに対応した歯科衛生介入⑦老年期P360～を読んで授業に臨んでください。(概ね30分)	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
22	ライフステージにおける歯科衛生介入 ⑧要介護高齢者	Ⅳ編 対象別の歯科衛生介入 2章配慮を要する者への歯科衛生介入①要介護高齢者P375～を読んで授業に臨んでください。(概ね30分)	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
23	ライフステージにおける歯科衛生介入 ⑨障害児者	Ⅳ編 対象別の歯科衛生介入 2章配慮を要する者への歯科衛生介入②障害児者P382～を読んで授業に臨んでください。(概ね30分)	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
24	口腔健康管理 口腔衛生管理 講義 (口腔衛生評価、口腔衛生に関する指導) 口腔衛生状態の指数(OHI、OHI-S、PHP、PDI)	Ⅲ編 2章歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理 ③分析のためのデータP158～を読み授業に臨んでください。(概ね30分程度)	大宮 由布子 伊藤 明日香 宍戸 敦子
25	口腔衛生管理 口腔衛生状態の指数 (OHI、OHI-S、PHP、PDI) 相互演習①	前時の授業内容を確認し、術者手順、留意事項を理解し、演習に臨んでください。	大宮 由布子 伊藤 明日香 宍戸 敦子
26	口腔衛生管理 口腔衛生状態の指数 (OHI、OHI-S、PHP、PDI) 相互演習②		大宮 由布子 伊藤 明日香 宍戸 敦子
27	口腔衛生管理 口腔衛生状態の指数 (OHI、OHI-S、PHP、PDI) 相互演習③		大宮 由布子 伊藤 明日香 宍戸 敦子
28	口腔健康管理 相互演習① 業務記録の書き方 (口腔衛生管理 EPP PMTC 術者1人目)	術者の手順、留意事項を理解し演習に臨んでください。(概ね30分程度)	大宮 由布子 伊藤 明日香 宍戸 敦子
29	口腔健康管理 相互演習② (口腔衛生管理 EPP PMTC 術者2人目)	術者の手順、留意事項を理解し演習に臨んでください。(概ね30分程度)	大宮 由布子 伊藤 明日香 宍戸 敦子
30	口腔健康管理 相互演習③ (口腔衛生管理 EPP PMTC 術者3人目)	術者の手順、留意事項を理解し演習に臨んでください。(概ね30分程度)	大宮 由布子 伊藤 明日香 宍戸 敦子
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯科機器』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯科材料』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 障害者歯科学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社		
参考文献	『歯科衛生ケアプロセス』下野正基監修 佐藤陽子 齋藤淳編著 医歯薬出版株式会社 『歯科衛生ケアプロセス実践ガイド』佐藤陽子 齋藤淳編著 医歯薬出版株式会社 『歯科保健指導』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生士のための齶歯予防処置法』中垣晴男ほか編著、医歯薬出版株式会社		
備考	シラバス1～6回目は動画視聴、20～23回目は合同講義、シラバス7・8回目のみクラス別教室での演習、シラバス9・10回目はクラス別実習室での演習、11～19、24～30回目は、クラス別で歯科実習室にて講義・演習を行う。		

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

歯科診療所で勤務経験のある教員が、各ライフステージにおけるプロフェッショナルケアの目的と使用器具の基本技術を指導する。

学修成果	1	2	3	4	5					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力					
		●	●	●	●					
科目名	臨地実習Ⅱ（臨床応用）				単位 認定者	伊藤恵美 佐藤陽子 大宮由布子 花淵 静 武山真奈美 西條佳奈 伊藤明日香		評価の方法	実習状況	100 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	通年	単位数	8 単位			
				授業形態	実習	授業時間数	360 時間			
						授業回数	集中			
授業の概要	本科目では、1年次で修得した学修内容を応用し、より高度で実践的な知識・技術を学ぶとともに、地域社会での歯科衛生士の有り様を現場で学ぶ。医療機関での臨床実習では、より高度な知識・技術を修得し、自らの歯科保健業務に活かすことについて学ぶ。教育機関、保育機関、福祉施設において、各ライフステージに合わせた歯科保健指導を行うことができる技術を身につける。									
学修者への期待等	1) 臨床現場における歯科衛生士の業務を実践することで歯科衛生士の役割を理解してください。 2) 修得した学修内容を応用し、実践的な知識、技術などを身につけてください。									
授業計画										
1. 実習期間										
1) 歯科医院臨床実習:6月～7月、10～12月										
2) 東北大学病院実習:11～12月										
3) 保育園実習、幼稚園実習:8月～9月(3日間)										
4) 小学校実習:2日間										
5) 社会福祉施設実習:7～2月										
2. 実習の目標										
1) 歯科医院臨床実習										
(1) 歯科診療の流れを理解し、それに必要な診療介助技術を習得する。										
(2) 歯科衛生士が行う歯科予防処置、歯科保健指導の具体的な内容を理解し、自らも実践できる。										
(3) 1年次、2年次に学内で学んだ知識、技術を臨床現場で実践することにより自己の学習成果を確認する。										
2) 東北大学病院実習										
(1) 各科の専門性とその連携について学ぶ。										
(2) 各科専門分野における各症例の診療を理解し、患者対応について学ぶ。										
(3) 各症例に合わせた歯科保健指導について学ぶ。										
3) 保育園実習、幼稚園実習										
(1) 幼稚園児、保育園児の保育活動に参加するとともに、園児の発達段階および日常生活行動について理解し、口腔の管理を行うために必要な、知識・技能・および態度を身につける。										
(2) 定期的な歯科保健指導を行うことにより口腔疾患のない保育環境を援助できる技術を身につける。										
(3) 保護者および他職種との連携を図る能力を身につける。										
4) 小学校実習										
(1) 対象学年に合わせた歯科保健指導計画の立案ができる。										
(2) 指導計画に添って教材・教具を活用し指導ができる。										
(3) 対象学年の児童に対しわかりやすい言葉、にこやかな表情で話を展開できる。										
(4) 歯科保健指導において、動画教材を用いた指導方法を実践できる。										
5) 社会福祉施設実習										
(1) 障害者および高齢者の口腔機能の向上と、QOLの向上に必要な口腔ケアの技能を習得するために、本人および介助者への対応と援助の能力を養う。										

授業計画

3. 実習計画

1) 歯科医院臨床実習

実習項目)

- ・診療室内の環境整備
- ・患者誘導
- ・使用器具・器材・材料の準備・後片付け
- ・診療介助(バキューム/ライティング/器具・器材の受け渡し)
- ・各種検査記録(歯式、歯周検査、O'Leary)
- ・印象採得介助および概形印象採得
- ・各種セメントの取り扱い(合着・仮着・仮封)
- ・各種仮封材の取り扱い
- ・口腔内写真撮影補助
- ・スケーリング(シックルタイプ・超音波スケーラー)
- ・PMTCおよびPTC
- ・う蝕予防処置補助(シーラント/フッ化物塗布)
- ・TBIおよび保健指導

2) 東北大学病院実習

実習項目)

- ・手指消毒及び器材器具の消毒・滅菌、管理
- ・術前・術後の患者指導及び対応
- ・患者対応及びコミュニケーション

3) 保育園・幼稚園実習

実習項目)

- ・園児及び保護者、保育士とのコミュニケーション
- ・口腔衛生指導(歯や口腔の役割、うがい指導、ブラッシング指導など)
- ・年齢に応じたう蝕予防法
- ・指導教材の作製および活用

4) 小学校実習

実習項目)

- ・学年に合わせた歯科保健指導案の作成
- ・ライフステージに合わせた専門的な口腔保健指導

5) 社会福祉施設実習

実習項目)

- ・利用者及び他職種とのコミュニケーション
- ・指導教材の作製及び活用
- ・利用者に対する保健指導の実践

教科書	1、2年次で、専門展開科目で使用する各教科書
参考文献	特になし
備考	実習終了後に、実習報告会を実施する。この報告会で実習の振り返りを行い、実習評価について総括する。

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

2024年度 歯科衛生学科3年生 年間予定表

前期

	日	月	火	水	木	金	土					
4月		1	2	オリエンテーション	3	(入学式)	4	5	健康診断	6		
	7	8	9	10	11	12	13					
	14	15	16	17	18	合同体育祭	19	20				
	21	22	23	24	25	26	実習指導者会議	27				
5月	28	29	昭和の日	30	1	2	3	憲法記念日	4	みどりの日		
	5	こどもの日	6	振替休日	7	8	9	10	模擬試験	11		
	12	13	14	歯科医院実習	15	歯科医院実習	16	歯科医院実習	17	歯科医院実習	18	
	19	20	歯科医院実習	21	歯科医院実習	22	歯科医院実習	23	歯科医院実習	24	歯科医院実習	25
6月	26	27	歯科医院実習	28	歯科医院実習	29	歯科医院実習	30	歯科医院実習	31	歯科医院実習	1
	2	3	歯科医院実習	4	実習予備日	5	実習予備日	6	実習予備日	7	実習予備日	8
	9	10	実習予備日	11	実習報告会	12	13	14	15			
	16	17	18	19	20	21	22					
	23	24	25	26	27	28	29	保護者会				
7月	30	1	2	3	4	5	6					
	7	8	9	10	11	12	13					
	14	15	海の日	16	定期試験	17	定期試験	18	定期試験	19	追試験	20
	21	22	夏休み	23	夏休み	24	夏休み	25	夏休み	26	東北地区 歯科衛生士 教育協議会	27
8月	28	29	夏休み	30	夏休み	31	夏休み	1	不合格者発表	2	夏休み	3
	4	5	夏休み	6	再試験	7	再試験	8	夏休み	9	夏休み	10
	11	12	山の日	13	お盆	14	お盆	15	お盆	16	お盆	17
	18	19	模擬試験	20	21	歯科医院実習	22	歯科医院実習	23	歯科医院実習	24	
	25	26	歯科医院実習	27	歯科医院実習	28	歯科医院実習	29	歯科医院実習	30	歯科医院実習	31
9月	1	2	歯科医院実習	3	歯科医院実習	4	歯科医院実習	5	歯科医院実習	6	歯科医院実習	7
	8	9	歯科医院実習	10	歯科医院実習	11	実習予備日	12	実習予備日	13	実習予備日	14
	15	16	敬老の日	17	実習予備日	18	実習予備日	19	実習報告会	20	模擬試験	21
	22	秋分の日	23	振替休日	24	後期開始 歯科医院実習	25	歯科医院実習	26	歯科医院実習	27	歯科医院実習

※振替授業日、追試験の日程、再試験の日程については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

2024年度 歯科衛生学科3年生 年間予定表

後期

		日	月	火	水	木	金	土						
10月	29	30	歯科医院実習	1	歯科医院実習	2	歯科医院実習	3	歯科医院実習	4	歯科医院実習	5		
	6	7	歯科医院実習	8	歯科医院実習	9	歯科医院実習	10	歯科医院実習	11	歯科医院実習	12		
	13	14	スポーツの日	15	歯科医院実習	16	実習予備日	17	実習予備日	18	実習予備日	19		
	20	21	実習予備日	22	実習予備日	23	実習報告会	24		25		26	せいよう祭	
11月	27	28		29		30		31		1		2		
	3	文化の日	4	振替休日	5		6	模擬試験	7	合同交流会	8		9	
	10		11		12		13		14		15		16	
	17		18		19		20		21		22		23	勤労感謝の日
	24		25		26	上杉山通小学校 実習	27	上杉山通小学校 実習	28		29		30	
12月	1	2		3		4		5		6		7		
	8	9	模擬試験	10		11		12		13		14		
	15	16		17		18		19	定期試験	20	定期試験	21		
	22	23	定期試験	24	追試験	25	冬休み	26	冬休み	27	冬休み	28		
1月	29	30	冬休み	31	冬休み	1	元日	2	冬休み	3	冬休み	4		
	5	6	不合格者発表		国家試験対策	8	国家試験対策	9	再試験	10	再試験	11		
	12	13	成人の日	14	国家試験対策	15	模擬試験	16	国家試験対策	17	国家試験対策	18		
	19	20	国家試験対策	21	国家試験対策	22	国家試験対策	23	国家試験対策	24	国家試験対策	25		
2月	26	27	国家試験対策	28	国家試験対策	29	国家試験対策	30	国家試験対策	31	国家試験対策	1		
	2	3	国家試験対策	4	模擬試験	5	国家試験対策	6	国家試験対策	7	国家試験対策	8		
	9	10	国家試験対策	11	建国記念日	12	国家試験対策	13	国家試験対策	14	国家試験対策	15		
	16	17	模擬試験	18	国家試験対策	19	国家試験対策	20	国家試験対策	21	国家試験対策	22		
3月	23	天皇誕生日	24	振替休日	25	国家試験対策	26	国家試験対策	27	国家試験対策	28	国家試験対策	1	
	2	国家試験	3		4		5		6		7		8	
	9		10		11		12		13		14		15	
	16		17	前日登校日	18	卒業式	19		20	春分の日	21		22	
	23		24		25		26		27		28		29	
	30		31											

※振替授業日、追試験の日程、再試験の日程については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-0-HSC-01				
	●	●								
科目名	スポーツレクリエーション				単位認定者	菅原 一昭		授業内課題	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	選択	3年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
				授業形態	演習	授業時間数	20 時間			
						授業回数	10 回			
授業の概要	スポーツレクリエーションを通じて、集団活動での協調性、安全についての理解を深めるとともに、集団活動から全体の規律・態度を学ぶ。また、子どもから高齢者・障がい者に及ぶ幅広いライフステージでの心身の発育とその特徴を学修し、歯科保健活動の際の導入段階としてレクリエーションを楽しく活用できる能力を養う。更に、運動の楽しさや喜びを深く体験することを通して、心身ともに健康な生活が送れる習慣を身につける。									
到達目標	レクリエーション支援活動を通じて、幼児・児童、高齢者、障がい者に対する理解を深め、歯科保健活動において積極的にレクリエーション支援活動を取り入れる。また、自分自身でも生涯を通じて心身ともに健康を送れるような生活習慣が身につけること。									
学修者への期待等	幼児・児童・高齢者・障がい者に対するレクリエーション支援の方法を学習し、実践すること。									
回	授業計画				準備学修					
1	授業ガイダンス(講義の概要・バス・体育館説明・評価方法等) レクリエーション支援に関わる諸理論 レクリエーションの意義と役割 アイスブレイキング、ホスピタリティ理論 (地下ラウンジ)				<p>【事前】 各対象者に対するレクリエーション支援活動についての意義について理解を深めておく。</p> <p>【事後】 配布されたプリントは、回収し授業内課題として評価する。</p>					
2	歯科保健活動での幼児・児童に対するレクリエーション理解 身近にある知育のアイデア 知育の効果を上げるプランニング等 (地下ラウンジ)									
3	歯科保健活動での高齢者に対するレクリエーション理解 楽しむためのサポートポイント レクリエーション支援の組み立て方、展開方法(地下ラウンジ)									
4	歯科保健活動での幼児・児童を対象とした計画・実施の流れ 企画書作成、グループ発表 (地下ラウンジ)									
5	高齢者に対するレクリエーション支援活動 高齢者の介護予防支援におけるスポーツレクリエーションの									
6	取り組み事例から学ぶ (体育館)									
7	障がい者に対するレクリエーション支援活動									
8	障がい者の自立支援におけるスポーツレクリエーションの 取り組み事例から学ぶ (体育館)									
9	生涯に繋がるスポーツレクリエーション活動									
10	多様なスポーツレクリエーションの実践事例から学ぶ 総括 (体育館)									
教科書	なし									
参考文献	必要に応じて文献・資料を用意する。									
備考	1～4回目は、地下ラウンジにて実施。(座席については、初回時スライドに投影いたしますので、各自確認すること)。 5～10回目は、体育館にて実施。(上下運動着、上靴持参)。土足厳禁。バス内での飲食禁止。事前に着替えてくること。 授業は2クラスに分かれて実施する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-1-DHB-12				
	●									
科目名	一般臨床医学				単位認定者	小野寺 健		試験（筆記）	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	3年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	授業内課題等	10 %
							授業時間数		20 時間	受講態度
				授業形態	講義	授業回数			10 回	
授業の概要	歯科を受診する患者の多くが生活習慣病などの何らかの疾患を持っていると考える必要がある。その対応のために、口腔内のみならず、全身管理の視点を持つ必要がある。本科目では歯科衛生士として必要な一般的な臨床医学の知識と主要な疾患の概要を理解する。									
到達目標	歯科衛生士として学ぶべき全身疾患の基礎知識を身につける。また、全身疾患がある患者さんに対するの歯科治療を行う際の注意点を学ぶ。									
学修者への期待等	多様な価値観と様々なライフステージの対象を理解するため、「人間」「環境」「健康」について知識を身につけ、人々の健康保持・増進に向けて歯科衛生士としての役割を考えてほしい。									
回	授業計画				準備学修			担当		
1	代謝性疾患—先天性代謝異常症、メタボリックシンドローム、糖尿病、脂質異常症、痛風など、内分泌疾患—視床下部・下垂体系、副腎疾患、甲状腺疾患など				教科書の代謝・内分泌疾患 に目を通しておく。(概ね20分)			小野寺 健		
2	女性の体の基礎解剖・性ホルモンなどの理解				教科書の産科・婦人科疾患・妊娠の内容について予習しておく。(概ね30分)			佐藤 理恵		
3	老化と加齢変化、精神・神経障害、認知症、脳血管障害、パーキンソン病など				教科書の神経疾患、精神疾患 に目を通しておく。(概ね30分)			小野寺 健		
4	妊娠・出産・産褥の理解				教科書の産科・婦人科疾患・妊娠の内容について予習しておく。(概ね30分)			佐藤 理恵		
5	アレルギー性皮膚疾患				事前に配布される教科書の「皮膚疾患」の項に目を通してきて下さい。			柿沼 誉		
6	皮膚感染症、皮膚腫瘍				事前に配布される教科書の「皮膚疾患」の項に目を通してきて下さい。			柿沼 誉		
7	子どもの成長発達・食行動の発達の理解				2年生で学習した「小児歯科学」の教科書の第2章「心身の発育」を復習してきてください。(概ね30分)			佐藤 幸子		
8	基本的な聴覚系・前庭系の生理解剖を学ぶ				聴覚器の構造を把握しておく。(概ね20分)			渡邊 弘人		
9	子どもの健康教育・指導に必要な基礎知識 感染症・発達障害など				教科書の「感染症(インフルエンザ)」と「精神疾患(発達障害)」の項に目を通してきてください。(概ね30分)			佐藤 幸子		
10	聴覚系・前庭系の疾患、治療、対応を学ぶ				自分が耳鼻咽喉科疾患になった時の症状を思い出す。			渡邊 弘人		
教科書	『歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック』橋本賢二・増本一真編著、医歯薬出版株式会社 他に適宜プリントを配布する。									
参考文献										
備考	レポート課題などが出題された場合は回収後、採点し、次回総括する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-1-DHB-18				
	●		●							
科目名	人間関係論				単位認定者	尾形 晶子		試験（筆記）	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	選択	3年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	エクササイズ	15 %
					授業形態	講義	授業時間数		20 時間	受講態度
				授業回数		10 回				
授業の概要	良好な人間関係の構築には互いを理解する必要がある。日常生活や臨床の場において経験する人間関係のプロセスやメカニズムについて社会心理学的視点を通して理解を深める。さらに、臨床の場における患者—治療者関係は信頼が基盤となる。治療的関係と個人的関係を明確に区別できることが大切で、そこに生じる医療倫理について学ぶ。									
到達目標	人はどんな時にどのような気持ちになるのか、自分だけの枠で考え行動することが、人とのつながりの上ではどのように影響するかを考え、グループで話し合っているいろいろな価値観、考え方を認め自分の心も整理する技術を学びます。他人の話をよく聞き相手は自分に何を求め期待しているのかに気づき、自分の考え、思ったことを言葉にして伝えることの大切さを知ります。									
学修者への期待等	一人一人違った考え、個性を持つ人間同士が、良好なつながりを持つことが大切だということの復習。相手を理解すると同時に自分にストレスをためない自己表現法。考えるより実際にやってみる方が身につきますので積極的に行動しましょう。									
回	授業計画					準備学修				
1	オリエンテーション ーバーバルとノンバーバル (①感じのよい応対とは？、②重要な挨拶、③相槌で相手を認めよう)					本日渡したプリントをもう一度読み返すこと(概ね30分)次回分のプリント「学生と社会人の違いについて」に記入。				
2	社会人とは？ 社会人の倫理と医療に携わる者の倫理 (①職場とは？、②チームワーク)					プリント「コミュニケーションに関する設問」に答えてくること。(概ね30分)				
3	ソーシャルスキル、PDCAで考える (①自己概念、②成功、失敗には原因がある)					プリントをあらかじめ渡すので読んでくること。(概ね30分)				
4	私って・・・？ 私らしさって・・・？ (①自己開示とフィードバック、②ジョハリの窓)					プリント「エゴグラム」に記入すること。(概ね30分)				
5	自分の取り扱い説明書、相手が思うあなたの長所、短所 (①エゴグラム、②人格と性格、③アイデンティティ)					プリント「敬語」の設問問題に答えてくること。(概ね30分)				
6	コミュニケーションって何？、分かち合う、応える、人を許すとは？ (①「たぶん・・・こうだろう」、②事実、伝聞、意見を分ける、③考える／訊く、④必要とされる敬語)					プリントをあらかじめ渡すので読んでくること。(概ね30分)				
7	報・連・相 (①危機管理、②社会的スキル尺度)					プリントをあらかじめ渡すので読んでくること。(概ね30分)				
8	人間関係を阻害するもの ー壁はどうしてできるのか ①伝聞、②思い込み(第一印象)、③経験					プリント「自己概念」について答えてくること。(概ね30分)				
9	メラビアンの法則 (①パラダイム、②認知実験)					プリント「対話の中で人と人がわかり合える」について答えてくること。(概ね30分)				
10	「以心伝心」はあるのか、「人が人を理解する」とは？ (①相手の気持ちを推し量る、②自分の言葉で伝える)									
教科書	プリントと参考資料を使って授業を進めます。内容をよく読み意見をまとめておいてください。									
参考文献										
備考	対面接遇の練習、レポートの提出、意見交換への積極性などの評価。レポートを詳細に授業の中で総括する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHP-09				
		●	●							
科目名	保健指導演習Ⅲ（臨床総合）				単位認定者	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香	評価の方法	試験（筆記）	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	3年	開講時期	通年	単位数		2 単位	受講態度	10 %
				授業形態	演習	授業時間数		60 時間	授業内課題	10 %
						授業回数		30 回		
授業の概要	「保健指導論」,「保健指導演習Ⅰ（臨床基礎）」,「保健指導演習Ⅱ（臨床応用）」を通して学んだ内容について, 歯科衛生過程を用いて, 実践する能力を身につける。									
到達目標	①各症例または事例における問題発見、解決方法を選択できる能力と口腔健康管理方法の知識、技術、態度を修得する。 ②歯科衛生過程に基づいた情報収集、ケア計画立案を行い、対象者に合わせた介入ができる。 ③計画内容および介入について評価・検討ができる。 ④口腔清掃指導の意義を理解し、継続した歯科衛生介入ができる。									
学修者への期待等	欠席せずに意欲を持って臨み、予習・復習をしっかりと行い受講して欲しい。									
回	授業計画				準備学修			担当		
1	歯科衛生過程の進め方				歯科予防処置・歯科保健指導論教科書Ⅲ編1章P100～119を読んで授業に臨んでください。（概ね40分程度）			佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香		
2	歯科衛生過程の展開 事例検討				前時の講義内容および歯科予防処置・歯科保健指導論教科書Ⅲ編2章P121～を復習して授業に臨んでください。（概ね30分程度）			佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香		
3	口腔衛生管理 相互実習①（EPP、歯垢染色、TBI、PMTC）				前時の復習およびⅢ編 2章歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理P121～を復習し授業に臨んでください。（概ね30分程度）			大宮 由布子 伊藤 明日香 宍戸 敦子		
4	口腔衛生管理 相互実習②（EPP、歯垢染色、TBI、PMTC）							大宮 由布子 伊藤 明日香 宍戸 敦子		
5	口腔衛生管理 相互実習③（EPP、歯垢染色、TBI、PMTC）							大宮 由布子 伊藤 明日香 宍戸 敦子		
6	歯科衛生過程演習Ⅰ 1・3年生合同実習①（歯垢染色、TBI、PMTC）				前時授業内容を復習し、授業に臨んでください。（概ね30分程度）			大宮 由布子 伊藤 明日香		
7	歯科衛生過程演習Ⅰ 相互実習 1・3年生合同実習②（歯垢染色、TBI、PMTC）							大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 伊藤 恵美 花渕 静 武山 真奈美 西條 佳奈 宍戸 敦子		
8	歯科衛生過程演習Ⅰ 相互実習 1・3年生合同実習③（歯垢染色、TBI、PMTC）									
9	歯科衛生過程演習Ⅰ 相互実習 1・3年生合同実習④（歯垢染色、TBI、PMTC）									
10	歯科衛生過程演習Ⅰ 相互実習 1・3年生合同実習⑤（歯垢染色、TBI、PMTC）									
11	口腔衛生管理 歯磨剤の薬効成分 ①う蝕予防 ※ライオン				歯科予防処置・歯科保健指導論教科書P268～P289を読んで授業に臨んでください。（概ね30分程度）			大宮 由布子 伊藤 明日香		
12	口腔衛生管理 歯磨剤の薬効成分 ②歯周病予防 ※ライオン							大宮 由布子 伊藤 明日香		
13	口腔健康管理 口腔機能低下症				歯科予防処置・歯科保健指導論教科書P153～P157を読んでおくこと。P360～P371を復習して授業に臨んでください。（概ね30分程度）			大宮 由布子 伊藤 明日香		
14	口腔健康管理 生活習慣の指導 ①非感染性疾患				歯科予防処置・歯科保健指導論教科書P289～P301を読んで授業に臨んでください。（概ね30分程度）			大宮 由布子 伊藤 明日香		
15	口腔健康管理 生活習慣の指導 ②禁煙支援				歯科予防処置・歯科保健指導論教科書P289～P301を読んで授業に臨んでください。（概ね30分程度）			大宮 由布子 伊藤 明日香		

回	授業計画	準備学修	担当
16	在宅訪問口腔衛生管理		佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香 穴戸 敦子
17	訪問口腔衛生指導 相互実習① 1人目、2人目(中央本館 介護実習室にて実習)	高齢者教科書Ⅳ編 3章 要介護高齢者への口腔ケア P138～151を復習して授業に臨んで下さい。(概ね30分程度)	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香 穴戸 敦子
18	訪問口腔衛生指導 相互実習② 3人目、4人目(中央本館 介護実習室にて実習)		佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香 穴戸 敦子
19	歯科衛生過程演習Ⅱ (口腔衛生指導の計画)		佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香 穴戸 敦子
20	歯科衛生過程演習Ⅱ (口腔衛生指導の計画) プレゼンテーション①	歯科衛生過程演習Ⅰの結果について考察し、歯科衛生介入計画を立てる。歯科衛生計画のプレゼンテーションができるよう準備して授業に臨んでください。(概ね60分程度)	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香 穴戸 敦子
21	歯科衛生過程演習Ⅱ (口腔衛生指導の計画) プレゼンテーション②		
22	歯科衛生過程演習Ⅱ 1・3年生合同実習①(歯垢染色、TBI、PMTC)		
23	歯科衛生過程演習Ⅱ 1・3年生合同実習②(歯垢染色、TBI、PMTC)	前時にまとめた内容および検討した実施計画を確認して授業に臨んでください。(概ね30分程度)	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 伊藤 恵美 花淵 静 武山 真奈美 西條 佳奈 穴戸 敦子
24	歯科衛生過程演習Ⅱ 1・3年生合同実習③(歯垢染色、TBI、PMTC)		
25	歯科衛生過程演習Ⅱ 1・3年生合同実習④(歯垢染色、TBI、PMTC)		
26	歯科衛生過程演習Ⅱ (口腔衛生指導の評価)		
27	歯科衛生過程演習Ⅱ (口腔衛生指導の評価) プレゼンテーション②	歯科衛生過程演習Ⅱで実施した内容についてプレゼンテーションできる準備をして授業に臨んでください。(概ね60分程度)	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香 穴戸 敦子
28	歯科衛生過程演習Ⅱ (口腔衛生指導の評価) プレゼンテーション③		
29	地域歯科保健活動 災害時の歯科保健 大規模災害時の保健医療対策	保健生態学教科書P317～324 Ⅲ編1章 4 健康危機管理 P387～393 8章 災害時の歯科保健を読んで授業に臨んで下さい。(概ね40分程度)	大宮 由布子 阿部 夕 伊藤 明日香
30	地域保健活動 災害時の歯科保健 グループワーク		
教科書	『最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 第1版』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 障害学歯科学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社		
参考文献	『歯科衛生ケアプロセス』下野正基監修 佐藤陽子 齋藤淳編著 医歯薬出版株式会社 『歯科衛生ケアプロセス実践ガイド』佐藤陽子・齋藤淳編著、医歯薬出版株式会社 『よくわかる歯科衛生過程』全国歯科衛生士教育協議会ほか編、医歯薬出版株式会社 『最新歯科衛生士教本 口腔保健管理』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『最新歯科衛生士教本 歯周疾患 歯周治療』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『健康寿命の延伸をめざした 口腔機能への気づきと支援 ライフステージごとの機能を守り育てる』(公財)ライオン歯科衛生研究所編、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生士のための禁煙支援ガイドブック』尾崎哲則・埴岡隆編著、医歯薬出版株式会社		
備考	シラバス1, 2, 10, 11, 12, 14～16, 19～21, 26～30は教室にて合同講義および演習。3～9, 13, 17, 18, 22～25はクラス別実習室にて演習。 1・3年生合同実習の回は、1年生の一部が正課外にて参加する。		

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

歯科診療所で勤務実績のある教員が、各症例に対して具体的な口腔衛生管理および口腔機能管理について実践的技術を指導する。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHP-18				
	●	●								
科目名	救急法・救急蘇生法				単位認定者	下田 元 菅原 一昭		試験（筆記）	35 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	3年	開講時期	後期	単位数	1 単位	評価の方法	試験（実技）	65 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	救急処置と蘇生法の基礎を学び、歯科医療スタッフの一員として現場で応用できるようになることを目的とする。									
到達目標	歯科口腔外科の臨床現場で、緊急時、適切で正しい救急処置と心肺蘇生法を実践できるようにする。									
学修者への期待等	教科書、講義資料などで関連事項を熟読し復習してください。歯科口腔外科臨床で患者さんの安心、安全な全身管理を行うための重要な科目です。身近な人が突然倒れたときに、救急救命の知識があれば命を救うことができます。無知であれば、救急車が到着するまでなすすべがなく救うことができません。後悔しないためにも救急救命法を学んで頂きたい。									
回	授業計画				準備学修				担当	
1	バイタルサインの評価、心肺蘇生法(BLS)の知識・手技の修得				教科書、講義資料などで関連内容を予習し授業に臨んでください。(概ね1時間程度)				下田 元	
2	ガイドンス(評価方法、受講するにあたっての心構え)応急手当の重要性。(目的・必要性・救命処置・心肺蘇生)				授業終了後、プリント回収。(チェックのため)				菅原一昭	
3	応急手当の重要性、救命の処置(心肺蘇生・AEDについて)				授業終了後、プリント回収。(チェックのため)				菅原一昭	
4	歯科口腔外科診療時の局所的・全身的偶発症、その症状、重症度評価、救急初期対処法、全身管理の修得				教科書、講義資料などで関連内容を予習、復習し授業に臨んでください。(概ね1時間程度)				下田 元	
5	特殊な傷病とその応急手当(歯の損傷・溺水・熱中症・感電 アキレス腱断裂・RICE処置)				授業終了後、プリント回収。(チェックのため)				菅原一昭	
6	全身的基礎疾患を有する歯科口腔外科患者の病態評価、全身管理、発症時の緊急処置、救急対処法の修得				教科書、講義資料などで関連内容を予習、復習し授業に臨んでください。(概ね1時間程度)				下田 元	
7	局所麻酔法、精神鎮静法、全身麻酔法、および、周術期患者管理、周術期合併症と緊急処置、救急対処法の修得				教科書、講義資料などで関連内容を予習、復習し授業に臨んでください。(概ね1時間程度)				下田 元	
8	乳幼児の一次救命処置(PBLS)の手順 (地下ラウンジ)				【事後】本時内容の復習(概ね1時間程度)をし、次回に備える。				菅原一昭	
9	搬送法・保温法・応急担架 (地下ラウンジ)				【事後】本時内容の復習(概ね1時間程度)をし、次回に備える。				菅原一昭	
10	インシデント・アクシデント報告、医療事故と法的責任、歯科口腔外科患者の全身管理で歯科衛生士に期待される役割についての理解				教科書、講義資料などで関連内容を予習、復習し授業に臨んでください。(概ね1時間程度)				下田 元	
11	子どもの応急手当(止血法) (地下ラウンジ)				【事後】本時内容の復習(概ね1時間程度)をし、次回に備える。				菅原一昭	
12	心肺蘇生法(成人)実技 (地下ラウンジ)				【事後】本時内容の復習(概ね1時間程度)をし、次回に備える。				菅原一昭	
13	心肺蘇生法の実技(成人・小児)実技 (地下ラウンジ)				【事後】本時内容の復習(概ね1時間程度)をし、次回に備える。				菅原一昭	
14	心肺蘇生法の実技(成人)実技、AED、止血法(地下ラウンジ)				【事前】実技効果確認に備えて、理解してくる(概ね1時間程度)。				菅原一昭	
15	実技効果確認、総括 (地下ラウンジ)				【事前】実技効果確認に備えて、理解してくる(概ね1時間程度)。				菅原一昭	
教科書	『歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 菅原担当分はテキストは特に指定せず、随時プリントをこちらで準備する。									
参考文献	特に指定しない									
備考	下田：講義ごとにその講義内容に関連する資料を配布します。知識の整理、復習、応用に繋げる習慣を身に付けてください。 菅原：◎実技時、服装は白衣。ナースシューズ。髪は後ろで結ぶ。必要に応じ授業内容に関連する資料を配布します。(菅原担当分はクラス別で授業を実施する)◎授業で理解できなかったこと等の質問に関しては本館2階職員室(菅原)で対応する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-RDH-01				
	●									
科目名	歯科衛生研究法Ⅰ（臨床基礎）				単位認定者	小野寺 健		試験（筆記）	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	選択	3年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	受講態度	30 %
							授業時間数		30 時間	
				授業形態	講義	授業回数			15 回	
授業の概要	歯科衛生の実践場面で遭遇する問題を自ら解決していくため、3年間で学んだ知識と技術を整理する。歯科衛生士として必要な総合的能力を修得することを目的とする。また、本教科では、臨床歯科につながる基礎的な知識と技術の整理も行う。									
到達目標	3年間で学んだ知識の総まとめを行う。									
学修者への期待等	教科書などによる予習・復習を行い、授業内容を十分に理解することを望む。									
回	授業計画				準備学修			担当		
1	病理学(まとめ)				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。(概ね1時間程度の事前学修)			小野寺 健		
2	社会福祉論1(総論のまとめ)				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。(概ね1時間程度の事前学修)			野口 美雪		
3	薬理学1(総論のまとめ)				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。(概ね1時間程度の事前学修)			北村 麻衣		
4	社会福祉論2(各論のまとめ)				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。(概ね1時間程度の事前学修)			野口 美雪		
5	歯科放射線学1(総論のまとめ)				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。(概ね1時間程度の事前学修)			飯久保正弘		
6	栄養学1(総論のまとめ)				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。(概ね1時間程度の事前学修)			中村 吉孝		
7	薬理学2(各論のまとめ)				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。(概ね1時間程度の事前学修)			北村 麻衣		
8	歯科放射線学2(各論のまとめ)				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。(概ね1時間程度の事前学修)			飯久保正弘		
9	栄養学2(各論のまとめ)				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。(概ね1時間程度の事前学修)			中村 吉孝		
10	口腔リハビリテーション1(総論のまとめ)				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。(概ね1時間程度の事前学修)			中川 大介		
11	地域福祉保健(地域保健)1(総論のまとめ)				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。(概ね1時間程度の事前学修)			石河 理紗		
12	う蝕予防法1(総論のまとめ)				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。(概ね1時間程度の事前学修)			鷺尾 純平		
13	う蝕予防法2(各論のまとめ)				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。(概ね1時間程度の事前学修)			鷺尾 純平		
14	口腔リハビリテーション2(各論のまとめ)				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。(概ね1時間程度の事前学修)			中川 大介		
15	地域福祉保健(地域保健)2(各論のまとめ)				質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。(概ね1時間程度の事前学修)			石河 理紗		
教科書	『歯科衛生士国家試験ポイントチェック①人体の構造と機能/歯・口腔の構造と機能/疾病の成り立ち及び回復過程の促進 令和4年版出題基準準拠』歯科衛生士国家試験対策検討会 編 『歯科衛生士国家試験ポイントチェック②歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 令和4年版出題基準準拠』歯科衛生士国家試験対策検討会 編 『歯科衛生士国家試験ポイントチェック③歯科衛生士概論/臨床歯科医学 上 令和4年版出題基準準拠』歯科衛生士国家試験対策検討会 編 『歯科衛生士国家試験ポイントチェック④臨床歯科医学 下 令和4年版出題基準準拠』歯科衛生士国家試験対策検討会 編 『歯科衛生士国家試験ポイントチェック⑤歯科予防処置論/歯科保健指導論/歯科診療補助論 令和4年版出題基準準拠』歯科衛生士国家試験対策検討会 編									
参考文献	適宜プリントを配布する。									
備考	5, 8, 11, 15回目は動画視聴で授業を実施する、授業の進捗状況により授業計画の順番が前後することがある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

歯科衛生学科 教員一覧

	職位	氏名	研究室	電話番号	E-mail
1	教授	おのでら けん 小野寺 健	小野寺 研究室	022-738-7715	k_onodera@seiyogakuin.ac.jp
2	教授 (学科長)	いとう えみ 伊藤 恵美	共同 研究室	022-217-0277	e_itou@seiyogakuin.ac.jp
3	教授	さとう ようこ 佐藤 陽子			yo_satou@seiyogakuin.ac.jp
4	准教授	おおみや ゆうこ 大宮 由布子			y_oomiya@seiyogakuin.ac.jp
5	講師	はなぶち しずか 花渕 静			s_hanabuchi@seiyogakuin.ac.jp
6	助教	たけやま まなみ 武山 真奈美			m_takeyama@seiyogakuin.ac.jp
7	助教	さいじょう かな 西條 佳奈			k_saijou@seiyogakuin.ac.jp
8	助教	いとう あすか 伊藤 明日香			a_itou@seiyogakuin.ac.jp
9	助手	すずき さえこ 鈴木 沙江子			sa_suzuki@seiyogakuin.ac.jp

歯科衛生学科 オフィスアワー

オフィスアワーとは、教員が学生の皆さんとのコミュニケーションを充実させ、個別に相談を受けるために研究室に在室する時間を設ける制度のことです。

相談を希望する教員のオフィスアワーの時間帯は、掲示などによりお知らせします。指定時間に教員が研究室で待機していますが、臨時の会議や出張などにより不在の場合もありますので、電話・メールなどで事前に連絡をとることをおすすめします。

非常勤の先生には、非常勤講師控室（1階事務室内にあります）または授業後の教室で相談をすることができます。

成績評価

成績評価基準は次のとおりです。

判定	成績評価	点数	GP
合格 (単位認定)	秀 (AA)	90点以上	4
	優 (A)	80点以上90点未満	3
	良 (B)	70点以上80点未満	2
	可 (C)	60点以上70点未満	1
不合格 (単位認定不可)	不可 (D)	60点未満 (※)	0
	評価不能 (E)	(1) 履修規程第6条第5項により、受験資格を有しない者 (2) 資格取得に係る実習で、各学科が関係法令を踏まえて授業科目ごとに定める時間数を満たさない者	0

(※) 再試験で合格の場合の成績評価は可 (C)、GP は1ポイントとなります。

歯科衛生学科 実務経験を有する教員の科目一覧

科目名	単位	実務教員	実務の概要
歯科衛生士概論	2	大宮 由布子	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
口腔衛生管理	1	伊藤 恵美	歯科衛生士として、大学病院での実務経験あり。
歯科予防処置法	2	武山 真奈美	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
歯周病予防法(臨床基礎)	2	伊藤 恵美	歯科衛生士として、大学病院での実務経験あり。
歯周病予防法(臨床応用)	2	伊藤 恵美	歯科衛生士として、大学病院での実務経験あり。
保健指導論	1	佐藤 陽子 大宮 由布子	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
保健指導演習Ⅰ(臨床基礎)	1	伊藤明日香 大宮由布子 佐藤 陽子	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
保健指導演習Ⅱ(臨床応用)	2	佐藤 陽子 大宮由布子 花淵 静 伊藤 明日香	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
保健指導演習Ⅲ(臨床総合)	2	佐藤 陽子 大宮由布子 伊藤 明日香	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
歯科診療補助法(基礎知識)	2	花淵 静 西條 佳奈	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
歯科診療補助演習Ⅰ(基本技術)	2	花淵 静 西條 佳奈	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
歯科診療補助演習Ⅱ(臨床技術)	2	花淵 静 西條 佳奈	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
歯科診療補助演習Ⅲ(臨床総合)	2	花淵 静 西條 佳奈	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
臨床検査法	1	花淵 静 伊藤明日香	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
審美歯科演習	1	花淵 静	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
	25	実務経験を有する教員が担当する科目の単位	
	93	設置基準上の標準単位数	